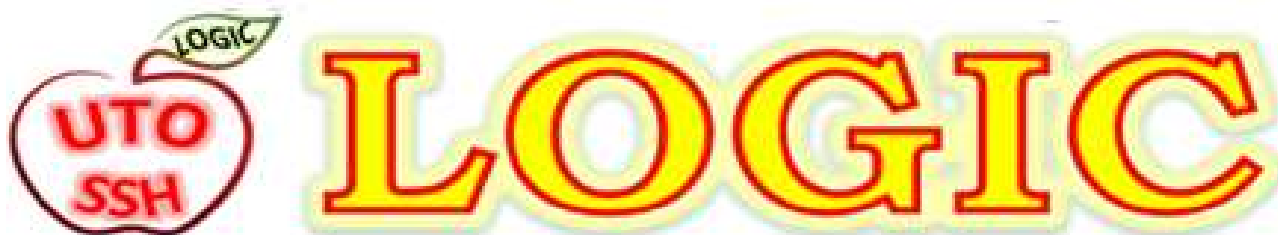


ロジック・ガイドブック 第3版

「ロジック」とは？

Think Logically, Objectively and Globally. Be Innovative and Creative.

論理的に、客観的に、グローバルに思考せよ。その思考は革新的であれ、創造的であれ。



文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定に伴い、

「5つの思考の種」を育てるプロジェクトLOGIC（ロジック）がはじまりました



論理的な
思考の種



客観的な
思考の種



グローバルな
思考の種

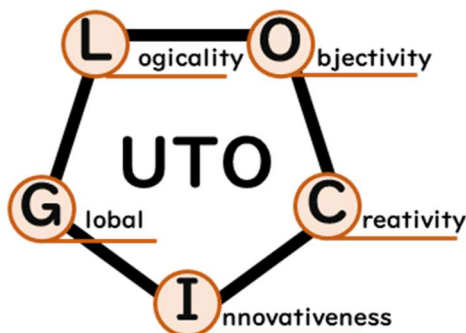


革新的な
思考の種



創造的な
思考の種

5つの思考の種の頭文字から創られた言葉がLOGIC（ロジック）です



あらゆる教育活動を通して、LOGIC（ロジック）を育てます

目次

第1章 ロジック・ガイドブックの使い方	3
1. 探究を通して高めたい力 UTO-LOGIC とは	
2. 何のために、何を指して探究するのか?ウェルビーイングを目指す	
3. ウェルビーイングを目指すとは。ロジックで何を、どのように学び、何ができるようにするか	
4. ロジック・ルーブリックとは	
5. ロジック・チェックリストとは	
6. 学校設定教科ロジックでの探究活動の名称とテーマ設定の方法	
7. 学校設定教科ロジックの3年間の流れ	
8. UTO-LOGIC を駆使して、探究の「問い」を創る(テーマ設定)	
9. 教育課程とコース選択(自然探究コース・社会探究コース)の考え方	
第2章 ロジック・ガイドブックコンテンツ	
ロジック・ガイドブックの凡例	17
ロジックリサーチ	19
L - 1 説明の一般性	科学的論文形式 IMRAD に沿ったレポートができる
O - 1 情報の正確性	参考文献の出典を明らかにしたレポートができる
G - 1 視野の広がり	自分の興味・関心を未知の世界で拓くレポートができる
I - 1 感覚の変化	自分の認識・感覚を変えるレポートができる
C - 1 未知の創造	自分の既知と未知の区別があるレポートができる
プレ課題研究	29
L - 2 説明の確実性	説明の根拠となるデータを示すことができる
O - 2 研究の妥当性	確立した科学的手法を用いた実験・研究ができる
G - 2 グローバルの一步	研究の概要 Abstract を英語でも説明することができる
I - 2 知識の変化	研究内容と教科書等学習内容の関連ができる
C - 2 知識の創造	研究内容から教科書等学習内容の知識ができる
課題研究「中間発表会」	39
L - 3 説明の一貫性	研究の仮説・目的と手法, 結果, 考察に一貫性がある
O - 3 研究の再現性	実験手法から再現性の高い結果を示すことができる
G - 3 同世代発表	研究の成果を様々な高校生に発表することができる
I - 3 仮説の変化	研究結果の考察から研究の仮説を再設定できる
C - 3 思考の創造	研究結果の考察から新たな研究を見出すことができる
課題研究「成果発表会」	49
L - 4 説明の対照性	対照実験としてコントロールの設定ができる
O - 4 研究の正当性	実験群とコントロールの違いを統計的に証明できる
G - 4 国内発表	研究の成果を学校外で発表することができる
I - 4 価値の創造	研究結果・考察から手法や条件の再設定ができる
C - 4 問いの変化	研究内容及び研究結果に価値を見出すことができる
課題研究「課題研究成果発表会」	59
L - 5 説明の論理性	研究をアカデミック・ライティングの手法で説明できる
O - 5 研究の客観性	第三者が課題研究論文集から客観的に研究証明できる
G - 5 国際発表	英語で課題研究の成果を発表することができる
I - 5 概念の創造	研究結果から従来の枠組・構造を変えることができる
C - 5 構造の変化	研究結果から新しい概念を見出すことができる
各種発表資料ポートフォリオ	69
1年ロジックリサーチ【レポート】・【ポスターセッション】	
1年プレ課題研究 【研究要旨】・【ポスターセッション】・【スライド資料】	
2年課題研究 【構想発表会資料】・【中間発表会ポスターセッション】	
2年課題研究 【成果発表会要旨】・【成果発表会ポスターセッション】・【スライド資料】	
3年課題研究 【研究論文】・【研究成果発表会ポスターセッション】・【スライド資料】	

第3章 研究要旨・研究論文の様式・書式	83
1. 研究成果要旨	
2. 課題研究論文	
第4章 1人1台端末を活用した探究活動	87
1. 学習用端末 OS とソフトウェア	
2. Chromebook と Google Workspace for Education	
3. Google アカウント	
4. Google Classroom 入室	
5. Google Classroom から Google ドライブへの接続	
6. Google ドキュメントで研究要旨や研究論文、ポスターを作成	
7. Google スライドでポスターを作成	
第5章 探究の「問い」の一覧	92
1. テーマ設定の流れ(探究科目と探究活動の名称)	
①探究活動の名称	
②テーマ設定方法	
③指導の類型化 SS 課題研究の指導方法	
④分野の類型化 GS 課題研究の探究分野設定	
2. 学際課題研究	
R7 (2025) ~R6 (2024)	
3. SS(スーパーサイエンス) 課題研究	
R7 (2025) ~H27 (2015)	
4. SS(スーパーサイエンス) プレ課題研究	
R7 (2025) ~H25 (2013)	
5. GS(グローバルサイエンス) 課題研究	
R7 (2025) ~H27 (2015)	
6. GS(グローバルサイエンス) プレ課題研究	
R7 (2025) ~H25 (2013)	
第6章 探究×進路・キャリア	109
1. 探究を通して高められる資質・能力	
2. さまざまな場面を通して高めたいコンピテンシー	
3. 進路・キャリアを探究するという考え方	
4. 志望理由書・自己推薦文を探究する	
5. キャリア・パスポートを通してストーリーを構築する	
6. 日本の大学入試制度「選抜方法」と「重視される評価軸」	
参考文献	115
むすびに	117